

令和6年3月1日

島本町立第三小学校
校長 下村 聡美 様

島本町立第三小学校学校協議会委員
中村 智 太田雅昭 岡本和子
新井千津代 西島哲史 水無瀬幸子

令和6年度の学校教育活動への提言

令和5年度の4回の学校協議会内容を踏まえ、下記のとおり取りまとめましたのでお取り計らいいただきますようお願い申し上げます。

記

第三小学校学校協議会委員一同は、学校教育目標である「みんなでつくろう 楽しい学校～つなぐ・つなげる・つながる～未来を切り拓く人間性豊かな子どもの育成」を進めることに少しでも力になれることに喜びを感じています。

子どもたちの健やかな「学びと育ち」のために、学校と家庭・地域双方向のつながりや協力が必要なことは言うまでもありませんが、児童・先生が日々の学校生活を快適に過ごせるために、さまざまな努力も必要であると考えます。

1. 学力向上について

① 授業の様子

1年生は、授業中に発表する人の方を全員が向いて、きちんと聞く姿勢がとれていました。毎日の積み重ねが大切だと感じました。また、粘土や毛糸を使った作品はどれもかわいくて、落ち葉を使った絵も個性あふれるものでした。

2年生の道徳では、パワーポイントを使っていました。とても見やすい絵と文字で児童にも飽きさせず、自分で考えたり他の人の意見を聞いたり楽しい授業でした。

3年生の算数では、時間を計るストップウォッチの使い方で、パワーポイントの大きな画面を出し、全員が見えるようにして理解をすすめていました。教室の後ろに吊ってあった、気球の作品群は圧巻でした。

4年生は、一人一台のタブレットを使った算数の授業や、各自でじっくり考えてプリントに記入していく理科「温度と体積」の授業など、科目・内容に応じてすすめていました。紙粘土などを使った「とろかちランド」はダイナミックな作品ばかりで楽しませていただきました。

5年生の道徳は、題材に基づき児童たちが思うさまざまな意見をどんどん黒板に書きだしていき、みんなで考えることで、立場の違いや自分ならどう思うかななどを育てていると感じました。

図工は、絵画や彫刻作品のポストカードを見て、作品から何を感じ取るか・他の人がどう感じるかな

ど、班ごとの相談もしつつ考えを発表して、豊かな芸術性を磨く入門編のような良い授業だと思いました。廊下の水彩画や米新聞も素晴らしいものばかりでした。

6年生の修学旅行の平和学習発表では、グループごとにパワーポイントも使い上手に発表していました。算数の図形では、パワーポイントを使いどうやったら導けるのかを「ミッション」として自分で考えることや、班に分かれて相談することを、時間を決めてタイマーで区切りながらうまく進めていました。説明もわかりやすく工夫がされていました。理科室では、リマス紙で実験、ピーカーや試験管などの器具の使い方も学んでいました。

支援学級は学校側の工夫がいろいろされていて、必要としている児童にとって安心してゆったりと学習できる場であると思います。今後も児童と保護者の希望に沿うような教室づくりに努力していただきたいと思います。

② 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査の結果から、総合的な正答率は国語、算数、理科すべて全国平均を上回っています。無回答率が低いことから、やってみようという粘り強さを持っているとわかります。これに対して、言葉や数字を使って解く記述式問題の正答率がやや低いようです。全国的にも低いですが、今後これについては課題として取り組んでいただきたいと思います。

③ すくすくウオッチについて

すくすくウオッチは、学びに向かう力・自己肯定感を育てているかなどを見るために行っています。

ことわざ・慣用句については、現在使わなくなっているものもあり、日々家庭では新しい言葉も使われてきています。普段から家庭でもことわざについて話をするなども大切だと感じます。

算数の記述式問題などは、グラフの読み取りはできても複数の情報を整理して読み取り考察する力が求められます。ひな型があればそこにあてはめて書くことはできていますので、方法を工夫して指導して下さることをお願いします。

2. 心の教育・生活指導について

学校アンケートより

児童・保護者・教職員のそれぞれの回答は肯定的なものがほとんどです。令和4年のデータと比較しても肯定的な回答が5%以上アップした項目もあります。

ICT機器を使った授業については教職員の意識は高まっていますが、学校全体としてもっと高くなるようにしたいものです。保護者もICT機器を使った授業について「わからない・不明」という回答が他の項目に比べて高いので、もっと周知していく必要性を感じます。

保護者については、今年度QRコード読み取りによるネットの回答を取り入れました。昨年までの紙媒体での回収は9割ほどでしたが、今回は5割に満たない結果になっています。アンケート提出は任意のため仕方ないことではありますが、できれば少しでも多くの保護者に回答いただけるような方法も考えてくださればたくさんの意見が聞けると思います。

児童にとって質問がわかりにくい部分については、文章表記を変更するなど工夫されています。今後も柔軟な対応ですすめてください。

学校図書館の利用が増えていることは喜ばしいことです。家庭でも本に慣れ親しむための習慣を心掛けて回答が上がっているので、読書の楽しさや素晴らしさを伝えていけるとと思います。

3. 教育環境について

新校舎での学習が定着してきたことで、児童・先生方ともなじんで過ごせているように感じます。校内もきれいで気持ちよい環境であると思います。ただ、一部の教室でエアコンの吹き出し口の汚れが見られたので、環境整備についてのチェックなどはぬかりなく進めてくださるようお願いいたします。

教室の後ろは児童の作品などの掲示物が壁いっぱいになっており、一方、前方は黒板と必要なもの以外はなく、すっきりして授業に集中できるよう工夫されていました。

チョークは白と黄色のみを使用していて、いろいろな子どもに対応しようという姿勢・環境であると感じます。移行行く時代の中で、今何が必要なのか、学習環境を整えていく事を今後も進めてくださることを願っています。

授業参観は、学習内容もさることながら保護者の参観態度が素晴らしかったです。静かに見守る姿に感心しました。

運動会では、暑い中クールダウンの時間を設けたり、水分補給を促す放送をしたりして、児童の体力や元気を守る取り組みがされました。半日開催ということでしたが、児童数や気候を思うとちょうどよかったと思います。内容も盛りだくさんでとても楽しめました。先生方の努力や気配りを間近で見ることで保護者たちの学校への理解も深まったと思います。観覧の態度も非常に良かったです。

4. PTAや地域との連携について

企業からの出前授業で実験を体験したり、地域の野菜クラブの方を招いてのお米パーティーなど、日常とは違うスタイルの行事は児童にとってとても楽しい経験となりました。しめ縄作りや焼きいもなど、今の子どもたちには機会の少ない体験が盛りだくさんで、日々の学校生活にも幅が広がっていると思います。

今後も地域のボランティアや人材に力を借りて、児童のためにできることをすすめてください。

PTA活動については、コロナ後の現代の生活スタイルに沿った活動を考えて、進めておられることと思います。保護者・教職員とも負担にならないように、しかしお互いが協力してよりよい活動ができることを期待しています。

5. 防災に関すること

年間を通じて火災・地震・不審者などの避難訓練に取り組んでいますが、学校は地震などの災害時に地域の避難場所となり、被災後の住民の居場所として長期に使用される可能性もあります。

生活の立て直しにおいて学校再開をいかに迅速にできるかは大切な課題でもあります。児童が少しでも早く日常を取り戻し安心できるよう、学校運営の計画についても進めてくださいますようお願いいたします。

本提言に対し、学校としての見解及び教育委員会からの見解を、新年度学校協議会にてお伝え下さることを希望します。